

ひかり

2019年5月号



日本聖公会 三光教会

第677号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

Ascension

トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」(ヨハネによる福音書 20:28-29)

主の平和

司祭 グレース 神崎和子

教会の木々の若葉が日増しに色濃くなり、新緑の美しい季節になりました。また教会の花壇では、マーガレットやバラの花々が咲き乱れています。これらに命の息吹、活力を感じます。

退職のこの年、主イエス・キリストのご復活日を思いがけず、皆様とご一緒にできました。このことを大変嬉しく、神様からの大きな恵みを頂いた思いでした。

復活日から聖霊降臨日までのこの季節、主日の説教を準備している中で、ふと残された弟子たちの思いが聖書を通して伝わってきました。弟子たちは、イエス様を見捨てて逃げてしまったという、後悔と絶望のなかにいました。彼らは、イエス様と宣教の旅をし、寝食を共にしていました。一切を捨ててイエス様に従い、すべてをイエス様にかけていたのです。にもかかわらず最終的には、イエス様を見捨ててしまったのです。

その様な弟子達に向かって、イエス様は、恨み言一つ言われるわ

けではなく、反対に「あなたがたに平和があるように」と言われるのです。そればかりでなく、時には「さあ来て食事をしなさい」と言われてパンをとって感謝の祈りを献げられ、弟子たちにイエス様ご自身を与えて下さるのです。この出来事に思いをはせてみますと、弟子たちと同様私たちも困難なことが苦しいことが起こると、心を閉ざし頑なになってしまいう自分に気付かされます。でもその様な私たちの閉じた心の中にも、2千年の時を超えて、復活されたイエス様は「あなたがたに平和があるように」と呼びかけて下さいます。そしてまたイエス様は主の食卓に私たちも招いてくださるのです。

私たちは主の食卓に招かれイエス様の命のパンを頂いて、私たちもそれぞれの場へ送り出されて行きたいと思えます。イエス様のことを話せる者になりたいと願います。

三光教会は長い伝統の中に生きています。今まで脈々と生き続けてきた、このお礼拝を大切にする姿勢と、生命力に満ちた宣教する活動力をまた次の世代へとこれからも繋げて頂きたいと願います。

5月～6月の予定

◆5月

26日(日) 復活節第6主日

27日(月) (昇天前祈禱日)

28日(火) (昇天前祈禱日)

29日(水) (昇天前祈禱日)

30日(木) 昇天日

31日(金) おとめ聖マリヤの訪問

◆6月

1日(土) 殉教者ジャスチン

2日(日) 復活節第7主日(牧師任命式)

3日(月) (昇天後主日)

4日(火) アフリカの殉教者

5日(水) 6月逝き者記念礼拝(聖餐式)

6日(木) 殉教者主教ポニフェース

7日(金) 聖霊降臨日

8日(土) 使徒聖バルナバ日

9日(日) (夏期聖職按手節)

10日(月) (夏期聖職按手節)

11日(火) 主教会博士バジル

12日(水) (夏期聖職按手節)

13日(木) (夏期聖職按手節)

14日(金) 三位一体主日・聖霊降臨後第1主日

15日(土) 聖餐感謝日

16日(日) 殉教者オルバン

17日(月) 聖霊降臨後第2主日

18日(火) 洗礼者ヨハネ誕生日

19日(水) 殉教者主教イレナエウス

20日(木) 使徒聖ペテロ、使徒聖パウロ

21日(金) 聖霊降臨後第3主日

22日(土) 聖書研究会の日取りは検討中

23日(日) 聖霊降臨後第3主日

男子会だより

4月

4月21日のイースター愛餐昼食会の後午後2時から、4月の例会を開催しました。

今回は5月12日に差し迫った「母の日」に男子会が提供する毎年恒例の昼ごはんの食材の確認、および作業担当割当表の確認をしました。

また6月に実施を計画している川越旅行について下見をしていただいた頼さん、吉川和明さんから訪れたコースおよび比較の混雑しない日程の説明を受けました。

日程の最終調整は、今回の旅行のハイライトである聖公会川越基督教会訪問ですので、最終日程の調整は先方の鈴木伸明司祭の予定をお聞きし、6月12日または26日（両日とも水曜日）のどちらかにすることになりました。

決定しだい集合時間や散策コース等の詳細をお知らせいたします。男子会以外の方も是非ご参加ください。
(記・平山 新)

■三光教会に赴任して

「なぜ」と問う過程

聖職候補生

荻原 充

聖公会神学院を卒業し、4月1日より三光教会に勤務となりました荻原充（おぎわら・みつる）と申します。聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂の出身です。どうぞよろしくお願い致します。

私は、7年前に聖路加国際病院にて妻を亡くしたことをきっかけにキリスト者となりました。結婚して10年、妻と共に過ごした時間は短かったのかもしれませんが、満ち足りたものだったと思います。二人で過ごした日々を胸に抱いたまま、私もこの世を去ってもいいのではないかと。残された私がこれ以上一人で生きる意味があるのかと妻を亡くした直後には考えていました。

私がいま希望や復活ということとを考えるとときには、そのような過去の自分に語りかけ、過去から現在に至ってきた自分の道筋を振り返ります。妻を亡くした直後の私は、希望や復活のしるしを見出

すことはできませんでした。しかし、振り返ってみるならば、希望の见えない只中であつて、「なぜなのですか」と問う相手がいたこと。また私がなぜと問い続けることに對して、何も言わずにそばにいてくれるひとがいたこと。そしてその問い続ける過程が私をいまに至らせた。そのプロセスが私を前に一歩進ませたのだと思います。死の陰の谷を歩くとき、わたしたちはひとりではないのです。何のために生きているのか分からなくなつたときに、見えないところで支えてくださる方がいる。そのことを伝えていくために、私もこれからなぜと問い続けるひとの歩みを共にできたらばと考えています。

左記の品物を集めています。

▽書き損じのハガキ

92 円切手に交換して山谷まりや食堂(路上生活者を支援する団体)の郵便発送に使つて頂きます。

▽使用済みの切手

日本キリスト教海外医療協力会の活動資金として活用されます

▽ホテルなどでもらつた未使用の歯ブラシ・歯磨き・石鹸・髯

剃り

山谷に生活される人々にお渡しします。

礼拝堂入口脇の箱に、まとめてお入れください。みなさまの、ご協力をお願いします。

(社会委員会)

*

*

城南グループ教会協議会

一 歓送迎会のお知らせ

○5月26日(日) 午後3時～午後4時30分

○会場・聖パウロ教会(東横線祐天寺駅下車7分)

神崎和子司祭、成成鐘司祭、笹森田鶴司祭、
高柳章江聖職候補生、荻原充聖職候補生
その他のかたがたを囲んで歓談します。

クワイヤーメンバー募集 ♪ ♪

歌で奉仕しようと言うお気持ちの
ある方の参加をお待ちしています。

特に男性パートの方のご参加をお願いします。

〈練習〉:毎週日曜日 9:30～

ウィークデイレッスン 月1回 19:00～

〈連絡先〉三光教会クワイヤー 斎藤、大川

俳句の会が合同句集を刊行

2016年11月に発足した三光教会・俳句の会は毎月第3水曜日に句会を重ねてきました。「俳句を詠んで教会での心の交わりを深めたい」というのが会を始めるときの願いでした。毎月の句会はいつも神崎和子司祭のお祈りで始まります。主のみにかなう句会でありますように、み旨にかなう作品が生まれますように。

発足後満2年を迎えた昨年11月の例会で、これまでの歩みをまとめたかどうかという司祭のお勧めをいただき、合同句集をまとめることになりました。会員それぞれが出発時からの歩みを振り返り、これからの句作に役立てることを願って、①作者別の作品集とする、②作品は句会に投句した順に配列し、推敲の手を加えない、③毎月の句会の記録を収める(その月の高点句・「私の選ぶ一句」)、などを編集の軸とすることを確認して、以来6か月にわたり編集作業を進めて、この5月下旬に『三光教会・俳句の会 合同句集Ⅰ』と

して刊行される運びとなりました。A5判・64ページの瀟洒な作品集です。希望者にはおわけします。

作品は2016年11月から2018年10月までの句会に寄せられた句を作者別(50音順)に整理しました。伊藤貞子、今井香津子、内田公子、内田安雄、大石坦、尾本美代子、笠原立子、三枝好文、佐藤百合子、鈴木一、永井康子、長島公美子、橋本守、藤田清子、三澤清太、吉川晃、吉村悦子、吉村輝夫の諸兄姉の句を収めて、神崎司祭に序文をいただきました。

(記・鈴木一)

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。
●礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
●わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、
毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2018年5月号(第677号)

発行者: 司祭 神崎和子 編集・印刷: 三光教会広報委員会